

甲南大学人間科学科の収容定員変更にかかる学生の 確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生確保の見通し及び申請者としての取り組み状況

①学生確保の見通し

ア. 定員充足の見込み

資料1「人間科学科における平成25(2013)年度から平成29(2017)年度の志願者・合格者・入学者等の状況」及び資料2「人間科学科における平成29(2017)年度の入学試験結果」にあるように、志願者数、受験者数等は定員を充足するために必要な水準を維持しており、十分に学生確保の見通しが見込める状況にあるため、人間科学科の志願者数は増加後の定員を充足するに十分なものであると判断できる。

一方、公認心理師資格カリキュラムの編成は4年間の学士課程において1年次から段階的に修得する積み上げ式になる見込みであり、同資格取得のために3年次から人間科学科に編入し、2年間ですべての必要単位を取得することは実際上不可能となること、さらに、本学大学院人文科学研究科人間科学専攻心理臨床専修における臨床心理士養成大学院第一種指定校として行ってきた臨床心理士養成を、平成30(2018)年度入学生(平成32(2020)年3月修了予定)をもって停止することを決定したことから、今後編入学を希望する者が減少し、10名の編入学定員を充足することは極めて困難な状況になることが予想される。

イ. 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

資料1「人間科学科における平成25(2013)年度から平成29(2017)年度の志願者・合格者・入学者等の状況」は、人間科学科の平成25(2013)年度から平成29(2017)年度までの入学試験における志願者、合格者、入学者等の状況に関する推移を示している。当該資料からは、人間科学科の志願者数は886名～1,218名、入学者平均も105名と定員を充足できる一定の水準が確保されている。

また、資料2「人間科学科における平成29(2017)年度の入学試験結果」においては、当該年度入学試験における試験制度別の志願者、合格者、入学者等の状況を示している。当該資料からは、志願者数の増減はあるものの、依然として入学定員を確保するために十分な水準が維持されており、新たに導入した公募制推薦入学試験や指定校推薦入学試験といった志願度の高い志願者を確保する制度が機能し、学生確保に向けた取り組みが成果につながっていることがわかる。

②学生確保に向けた具体的な取り組み状況

本学文学部人間科学科では、資料2「人間科学科における平成29(2017)年度の入学試験結果」にあるように、志願度の高い多様な志願者を確保する目的として、多面的な選抜方法を取り入れた公募制推薦入学試験を導入し、募集人員8名に対し、66名の志願者を集め、11名の合格者を得、うち10名が入学している。また、高大接続に関する取り組みを行ってきた成果として、指定校推薦入学試験において、27名の合格者を得ている。また、各種広報活動を展開し学生確保に努めており、具体的な活動としては、文学部人間科学科の特色やカリキュラム内容、教員等について掲載した大学案内(KONAN IN KOBE)や文学部各学科の学びの内容を紹介した文学部パンフレットを作成し、オープンキャンパスや高校訪問、模擬授業や分野別の説明会などで配布している。公認心理師資格のあり方が明確になったため、今後は資格取得についての情報提供や人間科学科独自のパンフレット及びチラシを作成する計画である。また、本学ホームページ内にある受験生向けWEBサイトを活用し、学部学科での活動や取り組みを紹介することにより、受験生が具体的な学びをイメージできるように受験生への訴求を図っている。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育上の目的

本学文学部人間科学科は、心理学分野及び哲学・芸術学分野の理論と実践を学び、社会の諸問題を多角的に捉え、柔軟に問題解決できる人材の育成を目指すことを人材養成上の目的として掲げており、その目的に則って社会的貢献を重視した実践的な教育を行っている。公認心理師法が施行されたことを受け、本学科の人材養成上の目的を実現するためには、公認心理師資格に対応することが必要であると判断した。

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

前述のとおり、平成27年9月に公認心理師法が成立・公布された。公認心理師は日本における初めての心理職国家資格であり、その注目度は非常に高く、新しい国家資格の制定に伴い、医療、福祉、教育、司法などの様々な領域で公認心理師資格を持つ専門職が活躍する場が増えることが予想される。本学は、臨床心理士養成大学院第一種指定校として臨床心理士養成を行ってきた伝統を持ち、関西圏を中心に全国に数多くの臨床心理士を送り出してきたことから、今後も地域社会から公認心理師の養成を強く求められることになるものと考えている。

以上

**甲南大学人間科学科の収容定員変更にかかる学生の確保の見通し等を
記載した書類の資料の目次**

資料1 「人間科学科における平成25(2013)年度から平成29(2017)年度の志願者・合格者・入学者等の状況」

資料2 「人間科学科における平成29(2017)年度の入学試験結果」

資料3 「人間科学科 平成25(2013)年度から平成29(2017)年度における編入学試験志願者・合格者・入学者等の状況」

資料 1

「人間科学科における平成 25(2013)年度から平成 29(2017)年度の志願者・合格者・入学者等の状況」

入学年度	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員超過率
	a	b	c	d	e	e/a
平成 25 年度 (2013 年度)	90	1001	979	258	104	115.6%
平成 26 年度 (2014 年度)	90	1067	1054	267	97	107.8%
平成 27 年度 (2015 年度)	90	886	877	302	100	111.1%
平成 28 年度 (2016 年度)	90	1121	1104	298	113	125.6%
平成 29 年度 (2017 年度)	90	1218	1204	268	109	121.1%
5 年合計/ 平均	450	5293/ 1059	5218/ 1044	1393/ 279	523/ 105	116.2%

※定員超過率は表示以下四捨五入。

資料 2

「人間科学科における平成 29（2017）年度の入学試験結果」

	志願者	受験者	合格者	入学者
	a	b	c	d
一般入試	1115	1101	220	64
公募制推薦	66	66	11	10
指定校推薦	27	27	27	27
系列校等	10	10	10	8
合 計	1218	1204	268	109

資料 3

「人間科学科 平成 25(2013)年度から平成 29 年度(2017 年度)における編入学試験
志願者・合格者・入学者等の状況」

入学年度	入学定員	志願者	合格者	入学者	定員充足率
	a	b	c	d	d/a
平成 25 年度 (2013 年度)	10	13	7	7	70.0%
平成 26 年度 (2014 年度)	10	4	2	0	0%
平成 27 年度 (2015 年度)	10	13	9	7	70.0%
平成 28 年度 (2016 年度)	10	13	10	10	100%
平成 29 年度 (2017 年度)	10	8	4	4	40.0%
5 年合計/ 平均	50	51/ 10.2	32/ 6.4	28/ 5.6	56.0%